



## 全国学力・学習状況調査の結果

4月に3年生対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。今回実施された国語・数学・理科に関する本校の概要、調査教科の中から具体的な指導内容における課題、そして指導内容と照らし合わせた改善の方向、生活習慣や学習習慣に関する調査結果から顕著な項目について記載しています。

なお、国語・数学・理科に関する個人の結果については、9月に3年生各生徒へ配付しております。

### <標記の見方>

- ・全国平均との正答率の差が+3.1ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・全国平均との正答率の差が+3.0ポイントの範囲内 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- ・全国平均との正答率の差が-3.0ポイントの範囲内 ⇒ 「ほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- ・全国平均との正答率の差が-3.1ポイント以下 ⇒ 「下回っている」

### 国語

本校の概要	今回の調査結果から見える課題	改善の方向
「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均より下回っている。	●事象や行為を表す語彙について理解すること。	○事象や行為、心情を表す語句に着目し、辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味をとらえる学習活動を充実させる。
「話すこと・聞くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	○話の内容が十分に踏まえられないスライドの改善策を検討するなどの実践的な活動を充実させる。
「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること。	○同音異義語などの意味の違いに注意し、事実や事柄を正確に文章で伝える活動を充実させる。
「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。	○さまざまな語句について取り上げ、語句の量を増すとともに、読み手を意識した文章の構成や展開を考える活動を充実させる。

### 数学

本校の概要	今回の調査結果から見える課題	改善の方向
「数と式」 ・全国平均を上回っている。	●多角形の外角の意味を理解すること。	○外角の意味を理解できるように、外角を図に示したり、角の大きさを測ったりする活動を充実させる。
「図形」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。	○証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現する活動を充実させる。
「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。	○確率を使って予想の正しさを確かめ、理由を説明できるようにする活動を充実させる。

「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●相対度数の意味を理解すること。	○大きさの異なる二つ以上の集団のデータを比較し、目的に応じてデータの分布の傾向を的確に捉え説明する活動を充実させる。
---------------------------------------	------------------	--

## 理科

※調査方法の違い（理科は CBT システムによる調査）により「本校の概要」については記載なし。

今回の調査結果から見える課題	改善の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できること。</li> <li>● 抵抗に関する知識が概念として身に付いていること。</li> <li>● 火災における適切な避難行動をするために、気体の性質に関する知識が概念として身に付いていること。</li> <li>● 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛において、共通性と多様性の見方を働きかせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈することができるこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 粒の大きさの異なる地層モデルを用いた実験を通して見いだしたことと、実際の地層とを関係付けて解釈する活動を充実させる。</li> <li>○ 身近な電化製品の基盤や説明書の回路図などを観察して、「この電気回路に抵抗がなかったときどうなるか」などグループで話し合いをする活動を充実させる。</li> <li>○ 理科で学習した知識を日常生活と関連付けて、その知識を概念として身に付けられるようにする活動を充実させる。</li> <li>○ 生物が生命活動を維持するために、必要な物質を体内に取り入れる際の特徴について、既習事項や日常経験などと関連付けて考える活動を充実させる。</li> </ul>

## 生徒に対する質問紙調査

肯定割合が高い項目	肯定割合が低い項目
<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。</li> <li>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。</li> <li>○<u>学校に行くのは楽しいと思いますか。</u>※1</li> <li>○読書は好きですか。</li> <li>○<u>道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。</u>※2</li> <li>○理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。</li> <li>▼<u>授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いませんか。</u>※3</li> <li>▼<u>学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。</u>※4</li> <li>▼<u>数学の授業の内容はよく分かりますか。</u>※5</li> <li>▼<u>理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。</u></li> </ul>

※1 本校の学校経営方針である「生徒が楽しく通い、主体的に学ぶ学校を目指し、教育活動を推進する。」に基づき、「失敗を恐れずに、安心して様々なことに挑戦できる環境づくり」、「自己肯定感を高め、多様な価値観を理解し認め合う環境づくり」、「生徒が自ら主体的に学ぶ授業づくり」に努めてきました。今後もこれらの教育活動を推進していきます。

※2 各学年ともに、多くの教師が関わるローテーション道徳を実施するとともに、小グループで意見を交流し合う活動を適宜取り入れております。今後も、他者の意見や価値観を受け入れながら、自分の考えをより深化させることができるような道徳授業を推進していきます。

※3 授業で学んだ知識や考え方を、他の教科や実生活で生かせるように、導入やまとめを工夫し、これまで以上に実生活と関連付けた学習指導を行っていきます。

※4、5 個別最適な学びの実現に向け、チームティーチング（サポート役の教師がいる授業）等を通して、分からぬ箇所などについて、授業内での相談しやすい雰囲気づくりに努めます。